

SAKURA

Since 2013



Vol.55
7・8月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



イラストレーション/小川 かなこ

この夏、不思議な音色を探す旅に出る。

== INDEX ==

Pick Up Event

さくらプラザオープンデー 2022

真夏のこども探検隊

Pick Up Artist

名曲サロンシリーズ Vol.33

マリンバアンサンブルコンサート 出演

マリンバ・コフレ

連載

子ども × 文化芸術 × 私たちの暮らす街

WA! 育つ! 育てる! / 小田 直弥

戸塚でたのしむミュージック♪ / 山添 薫

誰も真似てはならぬ!? 鈴木啓資の

◎さくらプラザコンサート企画案 / 鈴木 啓資

人は皆 背中と語る… 見返戸塚人



2015年より毎年夏休みに開催している「真夏のこども探検隊」。今年のテーマは、“不思議な音色の国”！「ストリンググラフィ」や「マトリヨミン」といった一風変わった楽器や、ピアノのミニコンサート、リトミックや楽器体験などで様々なイベントを実施いたします。今回は、当日の出演者の皆様より各イベントの紹介や楽しみ方を伺いました。これを読めば準備は万端！さあ不思議な音色の国へ出発だ！

糸の国 ストリンググラフィコンサート ～糸電話が楽器に!?～

出演：ストリンググラフィ・アンサンブル(水嶋一江、KIKU、篠原もとこ、美音)
会場：ギャラリー (3階)
【第1回】10:15～10:45
【第2回】13:15～13:45
【第3回】14:30～15:00
※各回15分前開場
要予約
▶7/19(火)14:00～電話予約開始

参加費 各回 500円 ※0歳から有料。
▶対象 未就学児(0歳)～
▶各回 約30分 ▶各回 定員30名
フィナーレ演奏
3Fギャラリーで待ってるよ!
時間：15:20～(5分程度)
予約不要・参加無料 ※混雑時入場制限あり。

一楽器の紹介と、当日の楽しみ方を教えてください!

ストリンググラフィは絹糸と紙コップでできたユニークな楽器です。糸電話の原理を応用しているのですが、1番長い糸は13mもあります。約100本の長い絹糸を張り巡らせ、今回の会場であるさくらプラザ・ギャラリー全体を巨大な弦楽器に変貌させます。

実はこのストリンググラフィ、ミイ先生(水嶋一江)が発明した日本生まれの楽器なんです!

名前の由来は、楽器でありながら、空間に張り巡らせた糸が美術作品のように印象的なので、“糸”を意味する “String(ストリング)” (“the strings”は弦楽器を意味します。)と、“図表”や“グラフィックアート”の作品を意味する“Graphic(グラフィック)”の2つの言葉を合わせて「Stringraphy(ストリンググラフィ)」と名づけました。

さくらプラザオープンデーの『糸の国』では、手袋をはめたパフォーマーが糸に触れると、あら不思議!メロディやハーモニー、それから小鳥のさえずり声・カエルの声・太鼓の音まで、様々な音楽や音色を奏で始めます。



ストリンググラフィを演奏する、ストリンググラフィ・アンサンブルの皆さん。

糸をどのようにして触るとどんな音色になるのかな?音の高さはどうやって決まっているのかな?今回はその楽器の秘密も徹底解説!たくさんの不思議と出会っているんな発見をしてくださいね。

音楽+アート+パフォーマンス+サイエンス……。唯一無二のストリンググラフィコンサート、「不思議な音色に満ちた『糸の国』」で、みなさんが探検にやって来るのをお待ちしております♪

触らなくても?音が鳴る国 ～電子楽器 マトリヨミン～

出演：マトリヨミンアンサンブルMMM (檜垣 紀子 他)
会場：ステンドグラス前(4階)
【第1回】10:00～10:30
【第2回】11:00～11:30
【第3回】13:30～14:00
【第4回】14:30～15:00
予約不要・参加無料

オープニング演奏
電子楽器マトリヨミンで始まるよ!
時間：9:45～(5分程度)
予約不要・参加無料 ※混雑時入場制限あり。

一楽器の紹介をお願いします!

マトリヨミンとは、世界最古の電子楽器「テルミン」の機能を「マトリョーシカ」に収めた電子楽器です。竹内正実氏(テルミン奏者・マンドリンエレクトロン代表)によって考案され、約5オクターブの音域を有し、手を触れずに演奏するのが特徴です。それを日本に輸入して機械を埋め込んでいます。絵柄は白木の真っ白な状態のものもあるので、マトリヨミン専門でオリジナルの絵柄を描いている方や、自分好みに描かれる方もいらっしゃいます。可愛い形や絵柄も相まって、見た目から入る方も多いですね。

演奏方法は手のひらにマトリヨミンを乗せて後ろにある電源スイッチを回してチューニング(音の出る距離を調整)するだけ。内蔵されているアンテナから出る微弱電波を遮るように、マトリヨミンに手を近づけたり遠ざけたりします。マトリヨミンは本式のテルミンとは違い、音の高さのみ変えて演奏します。演奏中に音量を変えることができないため、一度出すと音がで続けます。そこで、指の使い方や手の動きを変えることで音を区切り、音階を作ります。ベテランの演奏者は、それを瞬時に変えることで様々な曲を演奏します。

かわいい見た目なので、演奏しない時はお部屋に飾ることもできるため、インテリアとしてもお楽しみいただける珍しい楽器です。

一当日の楽しみ方を教えてください!

1つのマトリヨミンだけでも面白い音なのに、2つ3つと増えることに音が合わさり、人が歌っているような、まるで合唱をしているみたいに曲を奏でられます。誰でも簡単にいろいろな音が出せるというのが魅力的なところでもあるので、ぜひかわいらしいマトリヨミンを目で観て、実際に「触れずに!」(笑)、手をかざして体験してみてください。



マトリヨミンの中には、音を鳴らす機械が……!



マトリヨミンの合奏をするマトリヨミンアンサンブルMMMの皆さん。

オープンデーのイベントにご出演・監修される鈴木啓資さん、山添薫さん、小田直弥さんは情報誌 SAKURA の連載を担当しています。

連載は7ページへ
88鍵の国
～ピアノで奏でる音色の不思議～
要予約・参加無料
▶7/19(火)14:00～電話予約開始

出演：鈴木啓資(ピアニスト) 会場：リハーサル室(4階)
【第1回】11:00～11:45 【第2回】13:00～13:45 【第3回】14:30～15:15 ※各回15分前開場
▶対象 4歳程度～小学生 ▶各回 約45分 ▶各回 定員40名

一今回のコンサートの紹介をお願いします!

鈴木(以下、略)一多くの鍵盤を持ち、楽器の王様と呼ばれることもあるピアノ。ピアノといえば真っ黒で艶があり、白と黒の鍵盤で……、というイメージがあると思いますが、楽器の中身がどうなっているか知っていますか?

普段はなかなか見ることができない「ピアノの中身」を見ながら、その仕組みを学び、ピアノについて詳しくなりましょう!ピアノを使って簡単な実験をしたり、演奏をしたりと、普通のコンサートではできないようなことをする予定なので、目でも耳でも楽しめること間違いなし!

♪演奏曲目♪ ベートーヴェン:エリーゼのために/バルトーク:ルーマニア民俗舞曲/ドビュッシー:月の光 他

一当日の楽しみ方を教えてください!

身近な楽器の1つであるピアノを様々な角度から見ていくので、ピアノを知っている方のみでなく、ピアノにあまり親しみがない方もお楽しみいただけます。

1台のピアノから奏でられる様々な音色にも注目して、その違いを感じ取ってみてください。 ※内部演奏は行いません。

連載は6ページへ
音色を聴いて楽しくなる国
～不思議な親子リトミック～
要予約・参加無料
▶7/19(火)14:00～電話予約開始

出演：山添薫(リトミック講師) 会場：練習室4(4階)
【第1回】10:00～10:30 【第2回】11:30～12:00 【第3回】13:00～13:30 ※各回15分前開場
▶対象 未就学児(0歳～) ▶各回 約30分 ▶各回 定員15名

一今回のリトミックの紹介をお願いします!

山添(以下、略)一今回は「音の妖精ふわりを探す物語」をリトミックで体験していただけます。音を楽しむということで、小さなお子さまが馴染みのある“音”を様々な楽器で表現します。ギロ、スライドホイッスル、ウッドブロック、太鼓なども登場します。ウッドブロックから聴こえる音は、雨?トンカチを叩く大工さん?それとも お馬がぼくろりぼくろり歩いている?ギロはカエルかな?ガリガリした氷かな?……みんなの答えによってストーリーが変わるかも?!想像した分だけ物語が広がっていきます。さあ、音の妖精ふわりを果たして見つけることができるでしょうか。ふわり、ふわり、どんなイメージかな?体を動かしながら、想像し、表現する楽しさ味わってくださいね。

一当日の楽しみ方を教えてください!

リトミックは音を聴いて体を動かす表現を楽しむものです。お子さまが音を聴いてどんなことを考え、どう表現しているかをぜひご覧ください。お子さまの感性に魅了されることでしょ。楽しい気持ちは、心も体も脳も喜んでいきます。音を聴くだけでなく目でも楽しめる内容となっています。みんなで存分に感じて動いて、夏の思い出の1ページになれば嬉しいです。そして普段の生活音にも、耳を澄まし感じる五感が刺激されるきっかけになったらと思います。

連載は6ページへ
音色の不思議を見つける国
～世界の珍しい楽器を鳴らしてみよう～
予約不要・参加無料

監修：小田直弥 (弘前大学教育学部音楽教育講座助教) 会場：練習室前スペース(4階)
時間：10:00～15:30 ※随時お楽しみいただけますが、混雑時はお待ちいただく場合がございます。

一コーナーの紹介と、当日の楽しみ方を教えてください!

小田一世界中にはたくさんの楽器があります。木や木の実、動物の皮や毛、金属も使ってみたりして、大きかったり小さかったり、不思議な模様が入っている楽器もあります。私たちよりもはるかに昔を生きた人たちは、「木じゃなくて金属だとどんな音がでるのかな」、「演奏するときはこんな風に鳴らしてみよう」とたくさん考えたのだと思います。それはまるで探検隊になって、不思議な音色の世界を旅していたかのようです。

そんな昔を生きた人たちが作ってくれた楽器を世界のあちこちから集めて、1つの国に見立てました。数はそんなに多くありません。でも楽器の鳴らし方は1個につき1つだけではありませんから、鳴らし方を変えるだけで、音色がびっくりするほど変わってしまう楽器もあります。わくわくする気持ちに創造力を働かせて、1つ1つの楽器との時間を楽しんでください。

それぞれの楽器には、ふるさとを思わせる素材が使われていたり、模様があつたりします。楽器を手にとったら、音そのものを楽しむことに加えて、その素材や模様から、楽器のふるさとも思いを馳せてみてください。こうした体験が、音楽の源である「音」の世界への楽しい入り口になりますように!

さくらプラザオープンデー2022
真夏のこども探検隊～不思議な音色の国～
8/20(土)9:45～15:30ごろ
入場・参加無料 (ギャラリーのみ有料/一部イベントは要事前申込)
*詳細は裏表紙の他、チラシ・ホームページをご覧ください。
イベント詳細はこちら



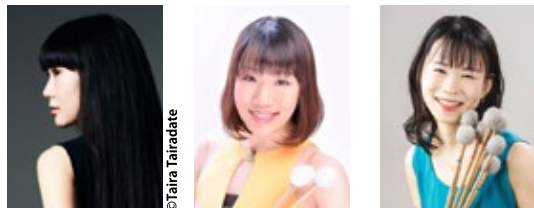


マリimba・コフレ

みかみ えりこ しのぎき ようこ いたう
三神 絵里子 篠崎 陽子 伊藤 すみれ

～コンサートは、難しく考えないで、マリimbaの音色に包まれて欲しい～

名曲サロンシリーズVol.33に出演するマリimbaアンサンブルグループ【マリimba・コフレ】の3名にマリimbaの魅力や、打楽器のおもしろさなどをインタビューいたしました。“打楽器”といえども種類は様々。メンバーの皆さんも数多くの楽器をお持ちのようです。8月の公演でもマリimbaと一緒に他の打楽器も演奏して下さるとのこと。出演者の皆さんもさくらプラザ公演を楽しみにして下さっていました。



三神 絵里子 篠崎 陽子 伊藤 すみれ

—マリimbaを始めたきっかけをお教えてください。

三神 絵里子(以下、三神)—中学校・高校と吹奏楽部で打楽器を担当していたのですが、当時はドラムセットが大好きでそればかりでした。中学2年生で音学大学を目指す!と決めたのですが、マリimbaも弾けないと受験できないので習い始めたら、マリimba奏者になりました(笑)!

好きなところは低音の響き。嫌いなところは楽器が重いところ……。

篠崎 陽子(以下、篠崎)—母がマリimbaの響きが好きだったので、中学1年生の時に勧められて近所のマリimba教室に通い始めました。そこから、マリimbaの魅力に取り憑かれ、音楽高校、音楽大学を経て、今に至ります。

マリimbaの魅力は響きが澄んでいて綺麗な所と、弾くのがとにかく楽しいことです!また、たくさんのマレット(バチ)の中から曲にあったものをセレクトするのも楽しいです。

演奏を始めてから20年以上になりますが、どんどん新たな魅力が出てきてとまりません(笑)。一生弾き続けたいと思っています!!

伊藤 すみれ(以下、伊藤)—中学1年生の時に吹奏楽部で打楽器パートを担当することになったのが、打楽器を始めたきっかけで、中学3年生の夏に音大附属高校を受験することに決め、そこから本格的にマリimbaを始めました。マリimbaの特徴は深く温かい音色だと思うのですが、それ以外にも曲によって、カッコよかったり、癒やされたり、可愛かったりと、色々な音色が出せて、どの音色も好きで魅力を感じます。

—マリimbaの魅力はどこにあると思いますか?

三神—あたたかく柔らかでいながらパワフルでもあり、重厚で豊かな響きの中にキラキラと輝くような感じもあるし……。木の板をたたくというシンプルな構造ですが、実に色々な表情を見せてくれるところですね。

—マリimbaや他の打楽器を演奏する際に欠かせない「マレット(バチ)」は、何種類もあるのですか?

三神—多くのマリimba奏者はだいたい200本近くある中から、曲や会場の響きに合わせて選びます。マレットは、柄の先端に玉状のコアがついていて、それに綿の糸や毛糸を巻いて作られています!コアの材質はゴム製が多く、重さや硬さは様々です。巻く糸の種類や巻き数でも音色が変わります。例えば柔らかいコアにふわふわ毛糸がたくさん巻いてあると、とてもソフトな音色になります。

マレットは消耗品で使っているうちに糸が切れてきたりするので、使い続けるには糸の巻き直し等・修繕が必要です。自分で直す方もいますが、私たちは職人さんに任せる派です!

—すごいマレットの数ですね!打楽器奏者の方はマリimba以外にも演奏なさるので、お持ちの楽器も多いのでは……?

三神—叩いて音が出るものは全て演奏します!が、特に好きなのはマリimbaなどの鍵盤打楽器。弦楽器や管楽器の仲間と一緒に演奏するときは「カホン」もよく演奏します。

持っている楽器は、大物はマリimbaを2台!(しかし、上には上がありますよ(笑)。)細かいのは数えるのも面倒なほどありますが、「タンバリン」「カスターネット」「トライアングル」の高級版とか?!タンバリンは4万円くらいします(笑)。オーケストラなどで活躍します。

あとは以前もさくらプラザでワークショップ&コンサートをさせていただいた、UFOみたいな形の金属打楽器「ハンドパン」ですね!



↑さくらプラザ春の芸術祭2020のイベントにてハンドパンを演奏する三神さん

篠崎—「マリimba」を4台、「小太鼓」「ジャンベ」「カホン」「シンバル」「カスターネット」「トライアングル」「鉄琴」などを持っています。日々増えていっています(笑)。たくさんあるので、アンサンブルなどのリハーサルはメンバーを呼んで、我が家でやる事が多いです!

マリimba以外で演奏する楽器は、この1年、「ドラ」をよく演奏していたので、購入しました!

ルチアーノ・ベリオ作曲の「ナトゥラーレ」というヴィオラとマリimbaのデュオ作品があるのですが、私はそこで「マリimba」と「ドラ」「ロートム」を使用します。最近では、太鼓を多く使う打楽器アンサンブルの作品にはまっており、「ボンゴ」「コンガ」「トム」を良く演奏しています。

伊藤—マリimba以外で演奏することが多いのは、ドラム缶から作られた「スティールパン」という楽器です。他には、珍しい楽器が好きで、風鈴をもとに作られた音階楽器「凜」、人形の形をして踊っているように見える「リンバージャック」、打楽器のように上から押して音を鳴らせる、紙でできたアコーディオン「ピフポフ」、牛の骨でできた「ボーンズ」、アフリカの木の実でできた「アサルト」等、数え切れないくらい楽器は持っています。



↑たくさんのマレット。



↑部屋いっぱいのマリimba。公演に向けて打合せ中。

—多くの打楽器を弾きこなす皆さまから、おすすめの打楽器はありますか?また、皆さま自身が今後挑戦してみたい楽器はありますか?

三神—もちろんマリimbaがおすすめです!「音階を弾いているだけでも聴いていて楽しい。」と母がよく言っています。大きすぎるのが玉に瑕ですが(笑)。欲しい楽器は、「ヴィブラフォン」!マリimbaと似て非なる金属製の鍵盤打楽器です。ペダルを踏むとピアノのように音が伸びます。買ったらさくらプラザで披露したい!

篠崎—今後挑戦してみたい楽器は「カスターネット」です!何人かでカスターネットのアンサンブルをやってみたいと思っています!欲しい楽器は、三神さんと同じくヴィブラフォンが今1番欲しいです!!今後は特にヴィブラフォンとマリimbaのデュオ作品をやりたいと思っています!

伊藤—面白いオススメの打楽器は、アフリカの玩具楽器「アサルト」です。遊びながら色々なリズムを鳴らせるのが面白いのですが、日本で例えるなら、けん玉のような感じでコツを掴まないとできません。私も最初はできなかったのですが、段々とコツを掴んでくるとできることが無限で、はまりました。

欲しい楽器はヴィブラフォンに似ている「メタロフォン」という教育楽器で、音が好きなのと、音盤の並び替えができるのも魅力です。

—打楽器への探求心が止まらない皆さまが「マリimba・コフレ」を結成したきっかけは?

三神—2018年から共演を重ね、2020年に「マリimba・コフレ」として活動を開始しました!

とあるパーティーでの演奏依頼を頂いた際に初めて3人で演奏をしたのがきっかけなのですが、それが楽し過ぎて……(笑)。本番は勿論ですが、3人していると、リハーサルから休憩のティータイムまで、もうずっと楽しいです!

私たち3人は、学校や学年が異なり、学生時代を共にしたわけではないのですが、根本的な楽器へのアプローチが似ているというか……。マリimba奏者は日本に大勢いらっしゃって、私も色々な人と共演してきましたが、マリimba・コフレは響きがよくブレンドされている気がします。演奏していて幸福感がありますね。この幸せがお客さんにも届くといいなあ……!

結成してすぐコロナ禍となり、思うように活動ができずに苦しい時期もありましたが、今回ようやくさくらプラザで演奏できる事がとても嬉しいです!



↑マリimba・コフレ(左から篠崎さん、三神さん、伊藤さん)

—戸塚のお客様に向けてメッセージをお願いします。

マリimba・コフレ—私たちの大好きなマリimbaを皆さまにご紹介できるよう、色々なテイストの曲をご用意いたしました。初めて聴く曲もあるかと思うのですが、難しく考えずに、マリimbaの音に包まれてみてください!

また、今回の為に厳選したマレットたちにも是非ご注目くださいね!

(取材・構成/山上 由布子)

かわいらしく、珍しい楽器!



←「リンバージャック」人形の形をした楽器。木の板の上に軽く乗せて、板を手でたたくと人形の足が踊っているように動き出し、音が鳴ります。

名曲サロンシリーズVol.33
マリimbaアンサンブルコンサート
～マレットからあふれ出るまろい音色～
8/2(火)①11:00/②14:30
会場: リハーサル室
出演: マリimba・コフレ
三神 絵里子、篠崎 陽子、伊藤 すみれ
*詳細は裏表紙をご覧ください。 公演HPへ

好評発売中

子ども × 文化芸術 × 私たちの暮らす街

WA!育つ!育てる!

小田 直弥

【ふむふむ、WA!】と驚くような、【輪】になって繋がっていくような……、文化芸術と街の視点で【子育て】を考える連載。
街・家庭で育つ子どもたちを大人はどう育てていくか。

Vol. 2 「子どもの参画」をキーワードに

イギリスのラウンドハウスイギリスのロンドン北西部カムデンの中心部にあり、かつては鉄道の転車台だった巨大なライブ会場が実施されている「RYAB」(Roundhouse Youth Advisory Board)を「存続」しようか。公募によって集まった若者たち(令和3年度は18歳から25歳を対象がラウンドハウスのすべての利用者を代表して常勤職員との月1回の会議に参加したり、イベントの企画・実施等をする取り組みです。RYABには年間15万円程度の予算がつき、若者たち自らの裁量で使うことができます。メンバーには事業、広報、マーケティング、財務といった担当が割り当てられ、会議にて意見を届けるほか、2名は理事会に出席し、意思決定にも関与します。メンバーには責任が与えられ、ラウンドハウスの運営に影響力をもつパートナーとして迎え入れられています。

子どものために質の高いプログラムを企画・提供することの意義は、日本国内でも共有されています。一方でその方法が、大人が企画・実施して子どもはお客様として参加するという関係性に傾倒しているように感じます。例えば、(大人が枠組みを準備した上で)子どもが自由にイベントを企画し、そのイベントに地域の大人が参加するという逆の関係性や、大人・子どもという枠も取り払い、対等な関係性からプログラムの企画・提供の在り方を模索するなど、方法の拡がりが必要に思います。新しい方法は、地域に住む人の新しい体験や関係構築を促し、街の雰囲気へと連続することが期待されます。

話はずれですが、東京都が主催する「子どもシンポジウムティーンズ・アクション TOKYO」は、東京都の子ども・子育て支援施策について、「もっとこうなればいいな」という意見を10代の視点から表明するイベントとして令和2年に始まりました。東京の現状とこれからの当事者として真剣に考える子どもたちの姿、そして子どもたちのアイデアと対話し実現可能性を探る大人の姿は、子どもと大人が対等であり、ともに手を取り合っただけでなく、未来を創っていくプロセスにも見えました。「心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現等」に資する文化芸術活動が、お客様としての子どもの参加だけではない、「子どもの参画」をキーワードに新たな拡がりをもつことを期待しています。



小田 直弥
弘前大学教育学部音楽教育講座助教。東京学芸大学子ども未来研究所学術フェロー。ヤマハ株式会社によるエジプト国初等教育への日本型音楽教育導入事業(非認知能力の測定手法検討)に参加。「きかんしゃトーマスでつなげる非認知能力子育てブック」(共著、東京書籍)。

RYABの2021年度公募ページです。RYABについてさらに知りたい方はこちらをご覧ください。https://onlsc.y2yqPg9



誰も真似てはならぬ!?

鈴木啓資の秘 さくらプラザ コンサート企画

案2

ピアニストで指揮者の鈴木啓資さんがさくらプラザで開催するならこんな企画がいい!とアイデアを綴っていく連載コーナー。いつか実現できる日がくるかも!?アーティストの頭の中を覗いてみましょう~!

「クラシック音楽のコンサート」というと、どのようなものを想像されるだろうか。開演時間になると舞台が明るくなり、そこに奏者が登場。そして演奏が始まる。指定席、自由席、いずれの公演であっても、席を選択する際には舞台を基準に決めるのではないだろうか。連載2回となる今回は、そんな概念を打ち砕くコンサート案を考えていきたい。

まず、さくらプラザのホールには1階席(359席)と2階席(92席)の固定席があるが、このコンサートでは、聴衆は1階席のみに座ることができる。奏者は舞台に加えて、聴衆を入れていない2階席からも演奏を行う。場合によっては、1階席にも演奏のためのスペースを設けても良いであろう。このように奏者を分散させた状態で演奏することで、様々な方向から音が聴こえてくる状況を作り出し、聴衆はその音楽と独特の響きを楽しむことができると考えられる。

プログラムは、この環境を最も活かそうな多声音楽を選択したい。したがって、バロック音楽が良いと考える。楽器編成は弦楽器のみ、もしくは弦楽器とピアノ(チェンバロ)といったような、小編成アンサンブルが良いのではないだろうか。また、客席の照明にも工夫をしたい。ホール内はできるだけ暗い照明にし、奏者は手元を照らすライトの下で、最低限の明るさの中で演奏する。これによりホール全体がかなり薄暗くなり、聴衆は視覚に頼らず、純粋に音に集中することができる。言い換えれば、様々な方向から聴こえてくる音の中に入り込むことができるのである。

その一方で、奏者側には大きな問題が生じる。それは、奏者間の物理的な距離と残響による「ずれ」である。舞台と2階席の奏者の距離や2階席の奏者同士の距離は、それなりのものになる。そのため、お互いの音を聴いてアンサンブルを行うということは難しい。思いついた解決策はクリック音を使うことだが、それだと音楽的ではなくなってしまう。この点については、音楽性を失わないようにしながらも、根本的な解決策が必要である。

このコンサート案は、天井が高く、2階席に余裕のあるスペースを有し、なおかつ素晴らしい残響を持つ、さくらプラザのホールであるからこそ生きてくるものであろう。一般的に舞台上に集まって演奏するクラシック音楽であるが、あえて奏者を分散させることにより、様々な場所から音が降り注ぐ様子を感じていただけるはずである。もし実現できれば、新たなコンサート体験になることは間違いない。

戸塚でたのしむミュージック

Vol.2 『お母さんの声は世界一のオルゴール』

皆さん、寝かしつけはどうされていますか?抱っこ紐で寝かしつけ、添い寝、寝る前にはマッサージもするでしょうか?そして、電気を薄暗くして歌うのが守唄……。私の母は「ねーむれねーむれ母の胸に〜」と口ずさんでいたのを微かに覚えています。一方、義母が歌っていたのは「ねーんねんころりよーおこーろりよー」でした。「子どもはどっちで寝るのかな?」と、わが子には両方歌って寝かしつけをしてみました。結果はどちらもよく寝てくれました。(寝ない時は寝ませんでした……。笑。)呼吸があってリラックスしている時に、赤ちゃんは安心して眠ることができるんだなぁと実感しました。こういった積み重ねで、私は1つずつお母さんになったのだと思います。

母親教室が終わる1歳には公園デビューも果たし、「お母さんと子ども」でお出かけする機会も増えました。赤ちゃんの時は健診か病院か、あるいはお友だちのお家で遊ぶくらいで選択肢も少なかったのですが、いざ「お出かけ!」となると迷ってしまいますね。私の場合、まずは近くのケアプラザや地区センターに行ってみました。そこには、たくさんの違う年齢のお子さんと、支援員の方がいらっしゃいました。

私は、地域の遊び場に置いてあるチラシで楽しそうなイベントを探しては次の遊び場へ……と繰り返していたので、その内に顔馴染みのお母さんと話すようになったり、同じ月齢のお母さんと話すようになったり。

たりと輪が広がっていきました。「そういうの苦手だなあ……」と思う方は子どもを遊ばせたり、外気に触れさせたりする目的で通っても良いかと思えます。1日のほんの数時間でも誰かと関わることは、子育てでいっぱいになっている“自分”を少し解放してくれる大切な時間でした。誰かと喋りたい、歌いたい、そんな時に外に出るきっかけをこの街はたくさん与えてくれるのです。

例えば、ケアプラザでは支援員さんが手遊びや絵本の読み聞かせなどをしてくれました。子どもはそこで覚えた「どっちんかつちんかじやのこ、はだかどとびだす ふろやのこ、どしーん!」という童歌を喜んで歌ってくれたので私も嬉しかったです。童歌は楽器がなくてもお母さんの声だけで遊べます。子守唄も童歌も今はタブレットが歌ってくれる時代ですが、お母さんの声は世界一のオルゴールです。大人になっても思い出す、母の歌声。今日は寝かしつけに子守歌を歌ってみませんか?



山添 薫
二児の母。趣味はサッカー観戦。戸塚区で生まれ育ち、幼稚園教諭時代を経て、結婚後はリトミック研究センター認定教室「まんまるリトミック教室」を主宰。「戸塚mama」創設メンバー。ホームページ: https://manmarumusic.crayonsite.info



人は皆 背中を語る…

見返戸塚人

戸塚の魅力あふれる方々をご紹介します。コーナーです。

「パン職人になられたきっかけとBAKER SHOWオープンまでの経緯を教えてください。」
大学卒業後、アパレル業界で販売員をしていました。退職し新しい職を探そうとしていた最中、東日本大震災が起ころり求人自体がとても少なくなりました。その中でどうにか見つけた仕事が、地元茅ヶ崎のパン屋でした。それまで自分はものづくりに向いていないと思っていたのですが、いざ始めてみると合っていたようで現在に至ります。今までにいよいよ「町のパン屋」からフランス人が経営するパン屋までを経験し、さまざまな学びがありましたね。そして「いつか自分の店を持ちたい」と考え始め、祖父の家の一 corner を改築し、2020年11月にBAKER SHOWをオープンしました。母とパン教室の先生をしていた伯母の3人で営業しています。

「店名の由来やパン作りで心がけていることを教えてください。」
店名「BAKER SHOW」のSHOWは、僕の名前の「翔(しょう)」と表現するという意味の「SHOW(ショウ)」、2つの意味を込めています。写真映えするパンというよりも「定番をワンランク上に、心をかけていて、素材にもこだわり、カレーパンのカレーやあんぱんの餡子などのフイリング(具材)も自家製なんです。こじんまりとした店舗ですが、毎日40~50種類位のパンを焼き、どのようなお客さんが来ても必ず好きなパンを選んでもらえる



「お客さまとのエピソードを教えてください。」
近隣にお住いの方が多く、「ここのパンじゃなきゃダメなの!」と毎週購入して下さる方もいて、うちのパンがお客さまの習慣になってくれていることがとても嬉しいです。週に2回は僕1人で営業しているので、自分が作った物を自分で売る良い機会だなと感じています。販売員をしていたので接客も好きなんです。その日のパンを作ったら職人の仕事は終了、とたいていのパン屋はなると思いますが、僕はレジで会計もやりますし常連さんのお顔や夢も覚えています(笑)。

「今後の夢や目標はありますか?」
さらに多くの方にBAKER SHOWのことを知ってもらいたいですね!先々の目標としては、いつか僕の地元の茅ヶ崎や他の場所でもパンを売ってみたいと思っています。

「読者の皆さまに一言お願いします!」
こちらの記事をきっかけに、ぜひ一度来店していただきたいです。美味しさの価値観は人それぞれですが、他とはちょっと違うと感じていただけたらと思います。数多くある戸塚のパン屋の中で1つの選択肢になれば嬉しいですよ。



顔見世
「戸塚人に逢いに逢おう!」
ベイカー・ショウ
BAKER SHOW
横浜市戸塚区戸塚町 4405
TEL:045-987-1677
営業時間:10:00~18:00
※売切次第終了
月曜定休
Instagram アカウント:
@bakershow_works



次号の戸塚人は……?

この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します!

さくらプラザ オープンデー 2022
真夏の
こども探検隊
 ~不思議な音色の国~

2022年 **8月20日** 土 9:45~15:30 まで
 入場・参加無料 (ギャラリーのみ有料/一部イベントは要事前申込)

出演者からのコメントを掲載中!
 本誌2~3ページをご覧ください。

チケット 要予約イベント予約開始
 7/19(火)14:00~

まもなく
 予約開始



イベントの詳細は
 ←こちらから

■**ギャラリー**:糸の国 ストリンググラフィコンサート ~糸電話が楽器に!??~ **要予約・有料**

出演:ストリンググラフィアンサンブル(水嶋 一江、KIKU、篠原もとこ、美音)
 ①10:15~10:45 ②13:15~13:45 ③14:30~15:00
 ▶参加費 各回500円 ※0歳から有料。▶対象 未就学児(0歳)~▶各回 約30分 ▶各回 定員30名
フィナーレ演奏:3Fギャラリーで待ってるよ!
時間: 15:20~ 予約不要・参加無料

■**リハーサル室**:88鍵の国 ~ピアノで奏でる音色の不思議~ **要予約・参加無料**

出演:鈴木 啓資(ピアニスト)
 ①11:00~11:45 ②13:00~13:45 ③14:30~15:15
 ▶対象 4歳程度~小学生 ▶各回 約45分 ▶各回 定員40名

■**練習室4**:音色を聴いて楽しくなる国 ~不思議な親子リトミック~ **要予約・参加無料**

出演:山添 薫(リトミック講師)
 ①10:00~10:30 ②11:30~12:00 ③13:00~13:30
 ▶対象 未就学児(0歳~) ▶各回 約30分 ▶各回 定員15名

■**スタンドグラス前**:触らなくても音が鳴る国 ~電子楽器 マトリヨミン~ **予約不要・参加無料**

出演:マトリヨミンアンサンブルMMM (檜垣 紀子 他)
 ①10:00~10:30 ②11:00~11:30 ③13:30~14:00 ④14:30~15:00
オープニング演奏:電子楽器マトリヨミンで始まるよ!
時間: 9:45~ 予約不要・参加無料

■**練習室前スペース**:音色の不思議を見つける国 ~世界の珍しい楽器を鳴らしてみよう~

監修:小田 直弥(弘前大学教育学部音楽教育講座助教)
時間: 10:00~15:30 予約不要・参加無料



イラスト:トレス・ジョン・小川 かなこ



はまりん



ウナシー

/当日ははまりんとウナシーもやってくる!\



名曲サロンシリーズ Vol.33
マリンバアンサンブルコンサート
 ~マレットからあふれるまあるい音色~



出演:マリンバ・コフレ(三神 絵里子、篠崎 陽子、伊藤 すみれ)

会場:リハーサル室
 8/2(火)

①11:30/②14:30 各回休憩なし・45分
 全席自由 各回 1,000円



らららん♪ドレミシリーズ Vol.18
0歳からのコンサートデビュー!
 ~打楽器で秋のズンチャツチャ♪~



出演:望月 かおり(打楽器)、中丸 ちひろ(ピアノ)

会場:リハーサル室
 9/8(木)

①10:30/②11:45 各回休憩なし・30分
 全席自由 各回 500円 ※0歳から有料。



さくらプラザ先行電話予約
 7/25(月)14:00~

*7/26(火)9:00~窓口引取り開始

まもなく
 予約開始

横浜音楽祭り2022共催

気軽にバロック!! ~トークと演奏を楽しむコンサート~

出演:中山 美紀(ソプラノ)、新田 壯人(カウンターテナー)、上羽 剛史(チェンバロ)

会場:リハーサル室
 10/19(水)

第1回 11:30

「知ると楽しいバロック音楽 ー後期バロックの名曲たちー」

第2回 14:30

「バロック初期~後期まで ー一名曲の時代を追ってー」

各回休憩なし・約60分、入替制

全席自由 通し券 2,800円

各回 横浜市民 1,500円/一般 1,800円/学生 500円

共催:横浜アーツフェスティバル実行委員会



チケット さくらプラザ先行電話予約
 7/15(金)14:00~
 *7/16(土)9:00~窓口引取り開始

まもなく
 予約開始

参加
 無料

こどものための
芸術の学校

演劇ワークショップ



講師:有吉 宣人(俳優)

会場:リハーサル室

9/18(日) ①10:00~12:30/②14:00~16:30

9/19(月・祝) ③10:00~12:30/④14:00~16:30

対象:小学4年生から18歳くらいまで

※申込方法などの
 詳細はチラシもしくは
 HPをご覧ください。

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F

event@totsuka.hall-info.jp

編集後記

今年も夏がやってきました!夏休みと言えば「さくらプラザ オープンデー 真夏のこども探検隊」です。親子で楽しめる企画をたくさん準備していますので、ぜひご来場ください!

さくらプラザ・ホールは天井改修工事に入りましたが、今後も諸室でのイベントや地域の中で文化芸術をお届けしていきます。どうぞ、お楽しみに♪(小野)

さくらプラザ・ホールは以下の日程で天井改修工事を行っています。
 工事期間: 2022年6月1日(水)~2023年1月31日(火)予定



https://totsuka.hall-info.jp

さくらプラザ

検索

※通信料が発生します。
 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって公演内容の変更、
 または中止になる場合がございます。



Vol.55
 7・8月号